

平成29年度「やまがた緑環境税」活用事業（ハード） 取組状況一覧 （平成30年3月末見込み）

区分	事業名	担当課	事業の概要	事業量等 (年間実績見込み)	H29最終予算額 ()は国庫補助金のみ	実施状況 (H30.3月末)
I 環境 保 全 を 重 視 し た 施 策 の 展 開	① 環境保全を重視した森林整備の推進					
	□ 荒廃森林緊急整備事業	林業振興課	長期に管理放置された森林を整備し、森林の公益的機能を確保	1,088 ha	482,691 (633,683)	地域ごとの実績見込み：村山 267.3ha、最上 159.9ha、置賜 162.8ha、庄内 497.6ha
			人工林整備	595 ha	192,040 (343,032)	地域ごとの実績見込み：村山 176.4ha、最上 146.0ha、置賜 70.7ha、庄内 201.6ha
			○スギ人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開(針葉樹林維持型)	583 ha	190,528 (339,869)	地域ごとの実績見込み：村山 176.4ha、最上 146.0ha、置賜 58.5ha、庄内 201.6ha
			○水源かん養などの公益的機能の高い森林の整備(針広混交林型)	12 ha	1,512 (3,163)	地域ごとの実績見込み：置賜 12.2ha
			里山林整備	493 ha	290,651	地域ごとの実績見込み：村山 90.9ha、最上 13.9ha、置賜 92.1ha、庄内 296.0ha
			○病害虫等で荒廃した里山林の再生(里山林整備)	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫や風雪害等により、自然回復出来ない広葉樹林の整備 ・森林景観整備(市町村補助) 	426 ha	263,718
		(小計)		1,088 ha	482,691 (633,683)	
	② 環境保全に配慮した資源循環利用の促進					
	□ 森林資源の再生	林業振興課	再造林とその後の保育施策を、森林組合等が森林所有者に代わって一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築	47 ha	8,925	地域ごとの実績見込み：村山 2.7ha、最上 25.9ha、置賜 0.9ha、庄内 17.3ha
	□ 森林資源循環利用促進事業	林業振興課	間伐材等を、ラミナ、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料用材として利用するための搬出への支援	48,705 m3	33,200	
			① ラミナ・合板等用材	28,652 m3	11,748	県内搬出(ラミナ等)は実績見込みで15,813m3、県外搬出(合板等)は実績見込みで12,839m3
			② 木質燃料用材	20,053 m3	21,452	間伐材の熱利用は実績見込みで9,568m3、バイオマス発電利用は10,485m3
	□ 広葉樹林健全化促進事業	林業振興課	ナラ枯れ被害木を含むナラ林の伐採によるチップ等への活用とナラ林の若返り、害虫の駆除を行うための搬出への支援	762 m3	762	
			・伐採搬出に関する助成	762 m3	762	地域ごとの実績見込み：村山 650m3、置賜 112m3
	(小計)			42,887		
I (ハード事業)計	計			525,578 (676,570)	当初予算 550,708 (△25,130) (712,440 (△35,870))	